

1. 河内長野市における公共交通をとりまく現状と課題

【河内長野市における公共交通をとりまく現状】

- 市域には一部公共交通の空白・不便地域が存在。
- 市の人口は平成12年以降減少しており、鉄道とバスの利用者は平成3年以降減少傾向。
- 移動手段の分担率は、自動車は増加傾向にある一方、鉄道、バスは減少。
- モックルコミュニティバスは、平成22年4月より上限200円運賃の試行運行を実施し、利用者は2年間でおよそ14%増加しており、大阪南医療センター玄関口や市役所、警察署といった施設や、鉄道駅での乗降が比較的多い。
- 日野・滝畑コミュニティバスの利用者は平成16年以降減少傾向。
- 楠ヶ丘地域乗合タクシーの利用者は、2千人前後で推移しながら微増傾向。
- バスの改善点は「一日の便数」が最も多く、次いで「運賃」「運行時間帯」「自宅からバス停までの距離」「運行ルート」が続く。

【河内長野市における公共交通をとりまく課題】

- ① 負のスパイラルに陥らないよう、公共交通利用者数を維持・発展させる必要がある。
- ② 地域存続のため、交通手段の確保が必要不可欠であり、公共交通空白・不便地域を解消していく必要がある。
- ③ 交通とまちの構造は密接に関連しており、様々なまちづくり施策と連携して実施する必要がある。

2. 第2期連携計画の基本方針

基本方針：持続発展できる公共交通を確保するための取り組み

- 公共交通利用促進策の実施
- 住民主体で公共交通の取り組みを行うことができる地域での関係者の協働による取り組みを実施  
→公共交通を守り育てるための事業を実施
- 地域別まちづくりと一体化した公共交通のあり方の検討

【展開スケジュール】

展開1

- ①公共交通に対する市民意識の向上とPR等の利用促進施策(各段階を通じて実施)
- ②市民主体の取り組みの仕組みづくりと試行的な取り組み(交通空白地域などで実施)

展開2

展開1での成果を踏まえ、他地域への展開を図る

展開3

展開1・2を踏まえた市民意識の高まりにより、協働による持続可能な公共交通ネットワークの確立

【基本とする交通体系】

本市の交通体系の基本方針は、現状の都市核に公共交通が集積している交通体系の維持・充実を図り、それぞれの都市核が交通結節点として鉄道・バスなどへ円滑に乗り継ぐことができる交通体系を目指します。

3. 第2期連携計画の区域と期間

【対象区域】

河内長野市全域

【期間】

第2期河内長野市地域公共交通総合連携計画					
河内長野市地域公共交通総合連携計画			24年度	25年度	26年度
21年度	22年度	23年度			

4. 第2期連携計画の目標

- バス利用者数の確保  
バス利用者が減少傾向にある状況の中、本計画に基づく取り組みを行うことにより、少なくとも現状(平成23年度)のバス利用者数以上を確保することを目指します。
- (山間地を除く)公共交通空白+不便地域の解消  
駅から1km、バス停から500m以上離れており、平日8便以下の公共交通空白地域や、駅・バス停の両方から500m以上離れている不便地域において、最適な運行形態等を協議し、試行運行などを行い解消することを目指します。

5. 事業の概要及び事業の実施主体に関する事項

方針	計画の目標	事業対象	分類	具体的な取り組み	事業主体	
1. 公共交通利用促進策の実施	バス利用者数の確保	(1)公共交通全般	①公共交通利用促進の啓発	(a)バス利用の手引きの作成、配布等	河内長野市地域公共交通会議、交通事業者	
				(b)バスマップの作成・配布	河内長野市地域公共交通会議、河内長野市、南海バス	
				(c)モデル的な取り組みの他地域へ啓発	河内長野市地域公共交通会議	
			②観光との連携	観光資源と路線バスを活用した取り組みの実施	河内長野市地域公共交通会議、河内長野市、南海バス	
				③商業施設との連携	商業施設等と連携した特典の提供等の検討	河内長野市地域公共交通会議、河内長野市、交通事業者
					(a)ノンステップバス導入の推進	河内長野市地域公共交通会議、河内長野市、南海バス
			④福祉との協力	(b)モックルコミュニティバスと福祉施設送迎バスとの乗り継ぎの検討	河内長野市地域公共交通会議、河内長野市	
				(c)福祉有償運送と公共交通の連携の検討	河内長野市、河内長野市地域公共交通会議	
				①料金支払い時の利便性向上	ICカードシステム導入の検討	河内長野市地域公共交通会議、南海バス
			②乗車運賃の割引		上限200円運賃の他路線への展開を検討	河内長野市地域公共交通会議、南海バス
					③バス乗降箇所の拡大による利便性向上	フリー乗降の展開
			④新規路線導入の検討		(a)深夜バスの運行を検討	河内長野市地域公共交通会議、南海バス
				(b)路線バスの運行	河内長野市地域公共交通会議、南海バス	
			(3)モックルコミュニティバス	①利用促進PR	(a)車内でのPR	河内長野市地域公共交通会議、河内長野市、南海バス
					(b)市役所、バス停周辺施設、店舗等でのPR	河内長野市地域公共交通会議
(4)日野・滝畑コミュニティバス	②乗車運賃の割引	(a)上限200円運賃の本格運行	河内長野市地域公共交通会議			
		(b)同伴者割引の試行	河内長野市地域公共交通会議			
(4)日野・滝畑コミュニティバス	①運行ルートの見直し	農の拠点をまわる運行ルートの検討	河内長野市地域公共交通会議、河内長野市			
		②沿線施設における割引特典の実施の検討	沿線施設、店舗などとのタイアップの検討	河内長野市地域公共交通会議、河内長野市、交通事業者		
(5)モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス	利用促進及び自主財源の確保		有料広告を掲載した時刻表・ルート図の作成及び配布、バス車内への有料広告掲載	河内長野市地域公共交通会議、河内長野市		
2. 公共交通を守り育てるための事業を実施	公共交通空白・不便地域の解消	公共交通	地域に合った公共交通の検討	地域に合った公共交通の試行運行を検討	河内長野市地域公共交通会議	